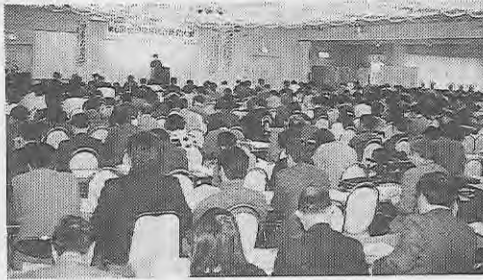


全国修学旅行研究大会開く

12月1日 大阪で

特色ある我が校の修学旅行——生徒の自主性を生かして——をテーマに



近畿地区公立中学校修学旅行委員会(近中修委、土居克己会長・西宮市立大社中学校長)と、財団法人全国修学旅行研究協会(山本種一理事長)とが主催する第六回全国修学旅行研究大会は、文部省及び近畿二府四県大阪府各教育委員会からの後援のもと、十一月一日午後大阪市の大阪府教育会館ホールを会場として、近畿地区を中心に全国から三百五十名を超す熱心な参加者を得て盛大に開催され、多大の盛況を挙げた。

特色ある二校が研究発表



発表者林教諭(左)と萩野教諭(右)

研究大会は、吉田素彦参事(立深井中央中学校長)の司会によって進行し、佐々木達三近中修委副会長(長岡京市長)の開会演説で始まった。冒頭のあいさつで土居近中修委副会長は、新教育課程の実施に向けて学校行事における修学旅行の位置づけを明確にし、その中で生徒の自主性を生かすことの意義を強調し、また、山本全修協理事長は、「たかが修学旅行、されど修学旅行」との

研究大会の歩みを振り返り、今後には発展性があり実効のある研究発表会になることを期待すると述べた。大阪府教育委員会からは、神内隆司保健体育課係長・指導主事、新指導要領での修学旅行の重要性が重大化したことを説き、この研究大会での協議の中から府の施策への多くの示唆を期待するとい

続いて、本研究会の講師として来会された高橋哲夫文部省初等中等教育局教科調査官、指導助言者の上野洋介大阪府教育委員会指導主事が来賓として紹介された。研究発表は、二人の中学校教諭によって行われた。最初は、富田林市立富田林第三中学校林一幸教諭の「集団作りの修学旅行——自主性の創造を目指して——」を主題とする発表で、純農村地区であった校区が住宅地へ

三年間の校外学習との関連等、地道な累積も必要と述べた。文部省高橋教科調査官は、今回の旅行・修学旅行の改訂の意図として、修学旅行における「自然と生活、野外運動、歴史と伝統」を中核とした野外活動の導入を示唆されている。また、一方、観光については、生涯学習の一環としてとらえ、「未知の自然、文化に接し、我が身を顧みることの大切さ」を述べられる。全国研究大会でも「観光と体験の融和」という発言があったが、今後の修学旅行の方向を示したものと見えた。

指導上の問題が激増し、荒れ果てた学校。それを正常化させる必死の取り組みにおいて、すべての教育計画・教育活動について学年の系統性を踏まえ、生徒の自主性を育てる積み重ねの中から宿泊行事を位置付けていた実践が報告された。参加者に深い感銘を与えた。次に、西宮市立深津中学校萩野南子教諭から、生徒たちの創意工夫を生かした修学旅行「リーダーの育成と班別自由行動」の主題で発表

が行われた。発表者自身が指導者集団の中で強いリーダーシップを発揮し、一致した指導体制のもと、学校・班のリーダーを育成し、生徒の自主的な活動に主眼を置き、創意工夫と心にゆとりのある修学旅行の実践が、スライドや展示された資料なども添えて報告された。学級旗制作、班別自由行動、テーブルマナー、交流会など、参考になるものが多かった。研究協議では、上野指導主

修学旅行新聞

発行所 財団法人 全国修学旅行研究協会
発行人 前田 寛
東京都千代田区西神田
千代田 7(南) 2932
電話 2426 6-36337

修学旅行は、学習を社会へ移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行う学校教育上極めて重要な行事である。従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究し、常にその改善に努力し、教育効果の充実に努める事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。(財団法人 全国修学旅行研究協会の趣意書から)

時言

新学習指導要領と修学旅行の今後の方向

編集委員 北條 直樹

十二月、全国修学旅行研究大会も終り、一年の回顧とともに、来る年を展望する時期である。教育界では、本年は新学習指導要領の告示があったが、修学旅行が位置づけられた特別活動では来年は全面移行になる。この時期に当たり、最近の修学旅行の課題を新学習指導要領に照らして検討することは大切なことである。新学習指導要領では教科でも体験的な活動が重視されるようになったが、とりわけ修学旅行は、近年、体験学習が強調される傾向にある。地引網、農作業など

の体験を始め、方法としては班別自主行動による体験学習も増加しつつある。体験学習については、第一に注意しなければならないのはその中身である。新学習指導要領の旅行・集団宿泊の行事は、その内容として「自然や文化に親しむ」ことが明らかにされた。「平素と異なる生活環境にあり、教科で学んだ自然や文化に直接触れることは、修学旅行が総合的学習として、学校教育活動の中で重要な位置づけがなされる所以である。今日、体験学習は、学校側よりむしろ

業者や自治体観光課などからの働きかけが少なくない。一部の中学校で「スキー体験修学旅行」が行われているが、体育的行事としてではなく、学校行事としての修学旅行として考えるとき、単なる流行に惑わされず、「自然や文化に親しむ」ことに重点を置くことが本来の姿であることは言をまたない。体験学習の第一の視点は、近年増えつつある班別自主活動である。新学習指導要領で、教科にまで体験的な活動を重視した理由は、「生徒の興味、関心を生かし、自主的・自発的な学習が促される」ためのものである。班別自主活動により、生徒一人一人が活動の主眼となることは、生徒に修学旅行の主人公として、自主的・実践的態度の育成とともに達成感や充実感をもたらすものである。しかし、反面課題も多い。関係者の研究協議で、実地調査を含む安全への配慮について熱心に討議されたことが、それを端的に物語っている。日帯の教育活動

実践研究を中心に 関修委研究発表会

11月17日 前橋で開催

関東地区公立中学校修学旅行委員会(関修委、木村一會長・茂原市立茂原中学校長)と、(財)全国修学旅行研究協会(山本種一理事長)とが主催する本年度(第二十四年度)の修学旅行研究発表会は、群馬県教育委員会を始め群馬県下の教育関係機関の後援により、十一月十七日前橋市の群馬厚生年金会館において、指導上の問題が激増し、荒れ果てた学校。それを正常化させる必死の取り組みにおいて、すべての教育計画・教育活動について学年の系統性を踏まえ、生徒の自主性を育てる積み重ねの中から宿泊行事を位置付けていた実践が報告された。参加者に深い感銘を与えた。次に、西宮市立深津中学校萩野南子教諭から、生徒たちの創意工夫を生かした修学旅行「リーダーの育成と班別自由行動」の主題で発表

が行われた。発表者自身が指導者集団の中で強いリーダーシップを発揮し、一致した指導体制のもと、学校・班のリーダーを育成し、生徒の自主的な活動に主眼を置き、創意工夫と心にゆとりのある修学旅行の実践が、スライドや展示された資料なども添えて報告された。学級旗制作、班別自由行動、テーブルマナー、交流会など、参考になるものが多かった。研究協議では、上野指導主



発表者木村教諭(左)と木村教諭(右)

次回の研究大会は東海地区で

三地区修学旅行臨時総会
関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会(土居克己会長・西宮市立大社中学校長)の臨時総会が、十一月二日宝塚市で開催された。顧問の(財)全国修学旅行研究協会山本種一理事長以下各府県委員三十名が出席し、前日開催された第六回全国修学旅行

研究協議では、上野指導主事から、「個性を生かす教育と修学旅行」と題して高橋教科調査官の講演が行われた。現今教育界の中核的課題となっている「個性を生かす」とをめぐって、「個性とは「個性」とらえ方」「個性の生かし方」など、学問的な立場と特別活動を中心とした実践的立場から説得力のある示唆に富んだ内容の話があった。講演の後、福岡英勝近中修委副会長(河内長野市立長野中学校長)が閉会の言葉を述べ、次回を約して散会した。

風紋

免追いしかの山……次の世代に伝える意図でNHKが募集した「日本のうた」に六十万通余りの便りが寄せられ、「一位が「赤とんぼ」二位が「故郷」だったという。上位の二十数曲が放送され、フィナーレは全員合唱による「故郷」であった。▼「ふるさと」は遠きにありて思ふもの」とは、室生犀星の有名な詩の一節だ。同じ引揚船に乗って、故国をめざした人たちの当時の体験をもとに、再会の喜びを織り交せたNHKのその番組は、視聴者の心をついた。▼馬籠の藤村記念館では、「血につながらざる」と「心につながらざる」と「言葉につながらざる」との額を掲げる。十歳の時に故郷を出てから、常に故郷を想い、故郷の風土と歴史の上に文学を開花させた藤村らしい言葉だ。▼井上靖は「(ゆかり)を「父」「母」と共に美しい言葉だとして、「ふるさと」の解釈では「おちおちの国」に勝るものはない」と述べる。また「この国でも」「ふるさと」を意味する言葉は美しいと、「ハイマート」を例にあげ、▼平成元年は、地方では「ふるさと創生」論で明け暮れた年でもあった。自治体自体の発想もあるが、宇治市の「紫式部文学賞」の創設や、魚津市の「人工の風車」の開設など、住民からアイデアを募った所も多い。「地域の活性化や、自治体と住民の心のつながりが推進された」と、一億円事業は来年も続けられる▼年末、さまざまな思いを乗せて、帰省列車は故郷へ急ぐ。……山は青き故郷。水は清き故郷。(北)

信頼される旅づくり

修学旅行は、プランニングから実施まで、安全で意義深いものでなければなりません。近畿日本ツーリストでは、修学旅行に必要な事項をキメ細かく網羅した全国地域別「企画書シリーズ」を作成し、ご利用いただいております。さらに、北海道から沖縄まで、修学旅行・ビデオテープ「学習の旅シリーズ」もご用意。学校の教育方針に沿いながらも、生徒ひとりひとりの心に輝く思い出づくりのため、国内・海外のネットワークを駆使して、細心の努力をいたします。

ツーリストの修学旅行。

心にあざやかな思い出。

近畿日本ツーリスト

本社 千101 東京都千代田区神田松永町19-2
支店/国内250店(登録)/海外15店 ©運輸大臣登録一般旅行業第20号

語学研修・ホームステイ
体験の在り方を探る
海外研修セミナー
11月29日 名古屋で開催

海外研修セミナー
主催 財団法人 全国修学旅行研究協会



参加者にあいさつする全修協山本理事長

愛知、岐阜、三重各県の私立学校関係諸団体の後援、オーストラリア、ニュージーランド両国政府観光局、中日新聞社の協力を得て、三県の私立高等学校、私立短期大学、各種学校、専修学校の学校長、教諭等八十名が参加した。山本理事長の「外国の慣習や文化を理解し、尊重する国際感覚のある青少年を育成しなすべし」という主旨

者あいつに続いて「国際感覚豊かな青少年の育成について」をテーマに、海外研修セミナーを十一月二十九日名古屋観光ホテルで開催した。

① 改訂の内容とそのねらい
体育的行事及び保健・安全的行事の整理・統合
学校行事あるいはそれに準ずる学校の行事については、その実施状況から見ても、学校の教育活動に占める割合が年間総授業時数において最も多く、特別活動の他の内容及び各教科並に道徳に及ぼす影響が少なくない。改訂に当たっては、教育課程審議会の答申においても、学校行事において、学校行事の精選に努めることが示されている。

このように、特別活動の改訂についても、まず学校行事の種類を整理することにより、相互に最も関連が深いと判断されたのである。関連の深い種類を統合することによって、それぞれの教育効果を相乗的に一層高めることができるのである。

第二の視点は、今回の改訂における「体育」に関する指導の重視であり、日常生活における適切な体育的実践の指導が促されること、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎が培われるよう配慮しなければならない。

(総則第一―三) この特別活動における具体的実施である「体育的」及び「保健・安全」については、個が大切にされるためには安全かつ体系的な集団を単位として、その活動

化教育への指針「語学研修・ホームステイ体験」等の在り方を探る」をテーマに、海外研修セミナーを十一月二十九日名古屋観光ホテルで開催した。

文部省教科調査官 高橋哲夫

行事の種類ごとの内容等
(3) 健康安全・体育的行事
学習指導要領には、次のように示されている。
心身の健全な発達や健康の保持増進などについての理解を深め、安全な行動や運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するよう活動を行いなす。

整理の視点の第一は、行事の種類ごとの関連の深いものを統合することであり、この点、体育的行事と保健・安全的行事は、たゞは教科の編成に見られるように、他の行事の種類に比して

相互に最も関連が深いと判断されたのである。関連の深い種類を統合することによって、それぞれの教育効果を相乗的に一層高めることができるのである。

特別活動においては「望ましい集団活動を通して個人的な資質及び社会的集団における成員としての資質等を身に付けること」をねらいとするが、従来、集団の中で個を生かすことに重点が置かれてお

者あいつに続いて「国際感覚豊かな青少年の育成について」をテーマに、海外研修セミナーを十一月二十九日名古屋観光ホテルで開催した。

新学習指導要領
についての解説 (8)

安全上の二つの行事を統合し、内容を充実することによって、学校行事の実施を通じての「体育に関する指導」の一層の充実を図ろうとするものである。

「理解を深め」が小学校に於いては「高め」と示され、小学校及び中学校の児童生徒の発達程度の差を配慮して、それ以外については同一の記述である。

「指導書」において、次のように示されている。
○健康診断 ○交通安全指導
○生徒の活動への意欲を高めるように工夫することとし、全体の調和のとれたものとし、生徒の負担が過重にならないように留意すること。

者あいつに続いて「国際感覚豊かな青少年の育成について」をテーマに、海外研修セミナーを十一月二十九日名古屋観光ホテルで開催した。

「動物たちのあったかラ・ン・ド」
●営業受付時間
9:00～17:00 (3月16日～11月5日)
9:30～16:00 (11月16日～3月15日)
●修学旅行料金 (消費税含む)
高校生 1,030円 中学生 721円
小学生 618円 ガイドラジオ
バス 1台につき1,030円
別府あじむ草原 博物館相当施設
アフリカンサファリ
〒872-07 大分県宇佐郡安心院町大字南畑
(0978) 48-2331(代)
FAX (0978) 48-2330

KANSAI KISEN
大阪・神戸 直行便 別府 さんふらわあ 12,000トン
大阪南港 19.00発 神戸中突堤 8.20着
20.30発 別府 8.00着
6.50着 19.20発
修学旅行に 貸切専用外航純密船 さんふらわあ7も ご利用ください。
信託の船旅 関西汽船
営業本部 営業課 大阪市北区梅田1-1 ☎(06)344-7031
東京支社 東京都中央区八重洲1-4-14 ☎(03)274-4273
及び各支店、営業所、旅行代理店へ

とびだせ自然へ 緑の箱根へ
箱根高原ホテル
〒250-05 神奈川県箱根町元箱根164
電話0460-4-8595(代表)

さわやかな奥日光の高原で素晴らしい
修学旅行の一夜をお過ごし下さい。
そのほか
冬期はスキー教室
夏期は林間学校
奥日光高原ホテル
〒321-16 日光市湯元2549-6
(TEL) 0288-62-2121代表

きっと、思い出いっぱいの旅になる。
修学旅行は、鈴鹿サーキットで体験学習。
見て聞いて、触れて学ぶ。ためになる体験をしたら、宿泊はリゾート感覚あふれるホテルK棟をご利用ください。魅力的な施設・サービスが修学旅行を思い出深いものにします。学校団体用SPECIAL PRICEにてお待ちしております。
そのほか、北欧風のD棟・E棟・G棟・J棟、団体でのお泊りに便利なビレッジF棟など多彩な宿泊施設もご利用ください。
体験学習のご案内
●エンジン教室 ●本田技研鈴鹿製作所工場見学
●モトピア ●モータースポーツ観戦 ●地曳綱
●潮干狩 ●伊勢形紙彫り ●茶摘み ●テーブルマナー 他
お問い合わせ・お申し込みは
鈴鹿サーキット
修学旅行課 〒510-02 三重県鈴鹿市福生町7992 ☎(0593)78-1111